

日本語の力を育む指導・教育

小学校の教育現場・教科書から

多様な言語文化背景を持つ子どもたちのリテラシーフォーラム4
子どもたちの日本語の力を描く、育む
—「日本人児童生徒」と「JSL児童生徒」の日本語の力の分析／測定方法の検討から—
(於：聖心女子大学) 2017.03.5 (日)

森篤嗣 (帝塚山大学)

＜学習指導要領＞ 知識使う力、重視 異例の指導法言及

- 毎日新聞 2017/2/14(火) 22:00配信
- 「戦後最大規模の改定」
- 文部科学省が14日発表した次期学習指導要領改定案は、知識習得が中心の受け身の学習ではなく、討論や発表などを通じた「主体的・対話的で深い学び」（アクティブ・ラーニング）による授業改善を打ち出したのが特徴だ。
- 小学校高学年での英語教科化など新たな項目も加わり、教員に求める能力はますます高くなる。一方、必要な教職員の配置など現場を支える手立ては整っておらず、学校には不安も渦巻く。

2012年8月の中教審答申

元は大学の授業で
使われていた用語

- アクティブ・ラーニング
- 教員による一方向的な講義形式の教育とは異なり、学修者の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学習法の総称。学修者が能動的に学修することによって、認知的、倫理的、社会的能力、教養、知識、経験を含めた汎用的能力の育成を図る。
- 発見学習、問題解決学習、体験学習、調査学習等が含まれるが、教室内でのグループ・ディスカッション、ディベート、グループ・ワーク等も有効なアクティブ・ラーニングの方法である。

言語活動の充実 1

- 言語活動の充実
 - 平成20年3月告示，平成23年4月より新課程となった小学校学習指導要領の目玉
- 小学校学習指導要領「総則」
- **各教科等の指導に当たっては**，児童の思考力，判断力，表現力等をはぐくむ観点から，基礎的・基本的な知識及び技能の活用を図る学習活動を重視するとともに，言語に対する関心や理解を深め，言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語環境を整え，児童の**言語活動を充実**すること。

言語活動の充実 2

- (1) 知的活動[論理や思考]に関すること
 - ア 事実等を正確に理解し、他者に分かりやすく伝えること
 - イ 事実等を解釈するとともに、考えを伝え合うことで、自分の考えや集団の考えを発展させること
- (2) コミュニケーションや感性・情緒に関すること
 - ア 互いの存在についての理解を深め、尊重していくこと
 - イ 感じたことを言葉にしたり、それらの言葉を交流したりすること
- PISA (Programme for International Student Assessment) 調査の影響も大きい
 - 「新読解力」：解釈したことを表現する、非連続型テキスト

2014年11月の中教審諮問

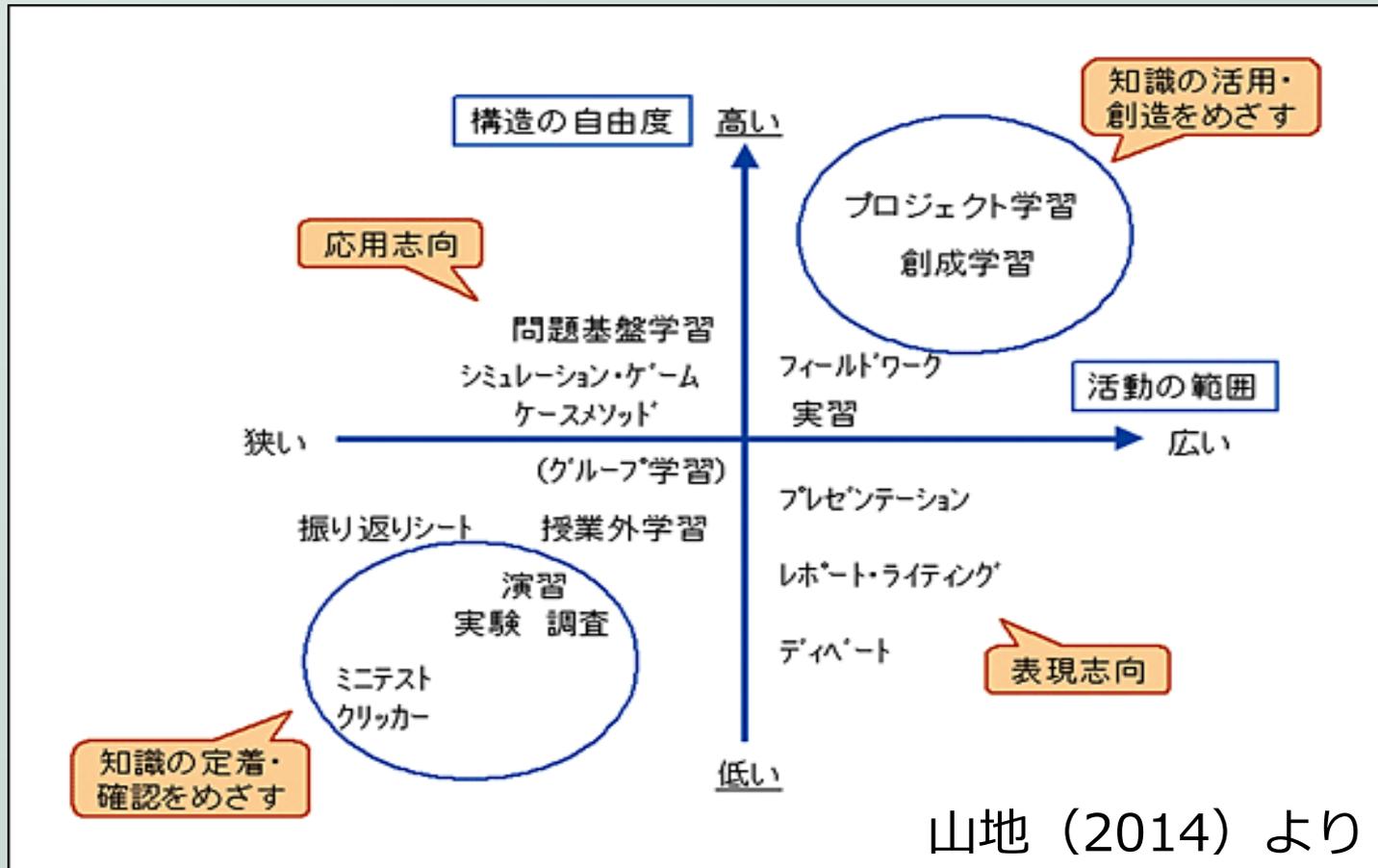
- アクティブ・ラーニング＝「課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習」
 - 学ぶことと社会とのつながりをより意識した教育
 - 自ら課題を発見し，その解決に向けて主体的・協働的に探究
 - 「何を教えるか」という知識の質や量の改善はもちろんのこと，「どのように学ぶか」という，学びの質や深まりを重視
 - こうした学習・指導方法は，知識・技能を定着させる上でも，また，子供たちの学習意欲を高める上でも効果的
 - 学びの成果として「どのような力が身に付いたか」に関する学習評価の在り方についても，同様の視点から改善を図る必要がある

「総合」と「言語活動」との関わり

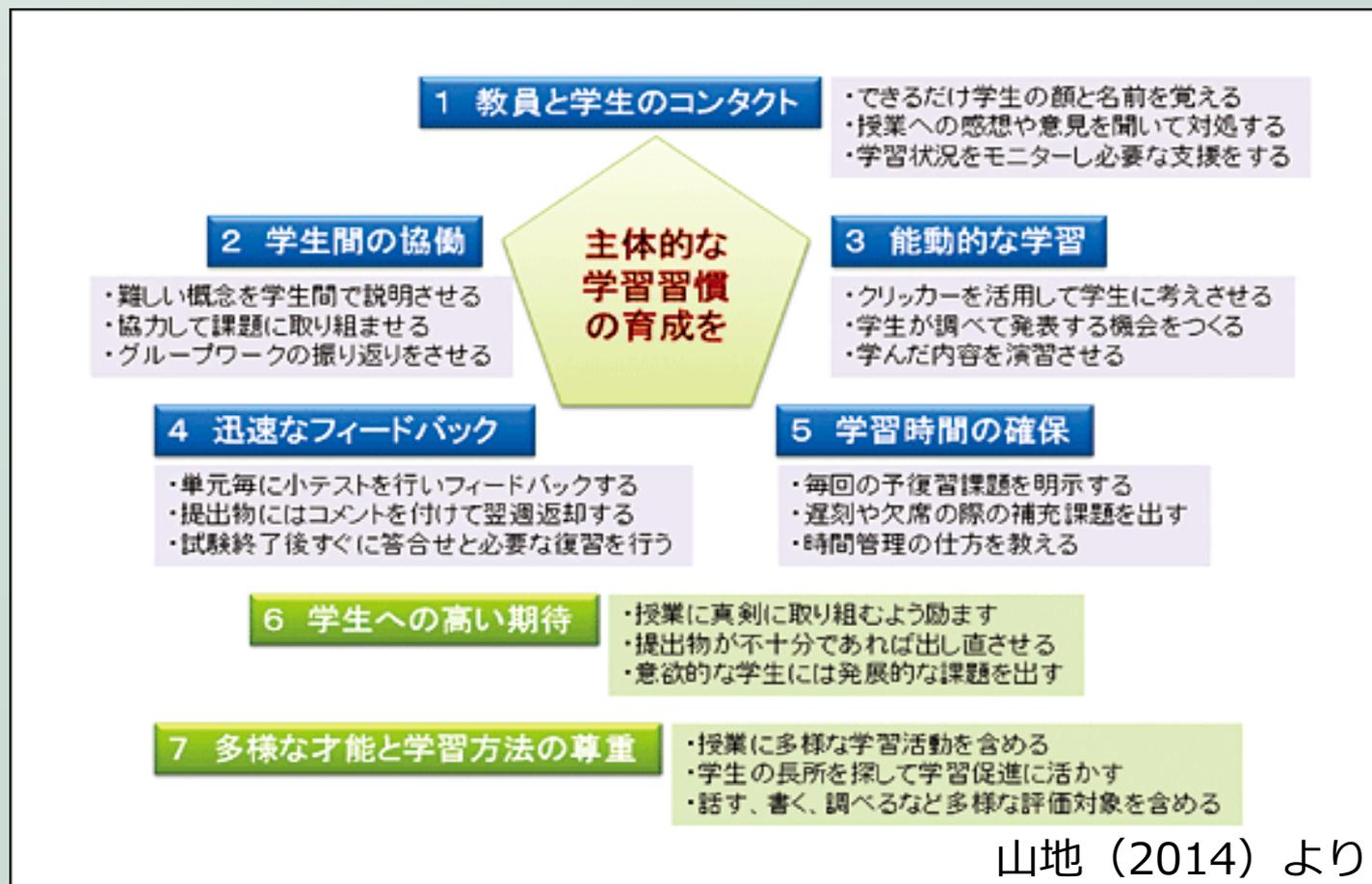
- アクティブ・ラーニングが「総合的な学習の時間」の方向性に近いことは事実
- 「総合」は、旧指導要領の105（3・4年）／110（5・6年）時間から70時間（3～6年）に減った
- 減った分は各教科に導入した「言語活動」に移行したと考えるべき
- すなわち、「総合」では教科横断の課題解決的な学習に特化したと考えるべき

→「総合」は軽視・削減されたのではなく、アクティブ・ラーニングを汲んで重視されたとも考えられる

アクティブ・ラーニングの多様な形態



「7つの原則」とそれぞれの工夫例



クリッカーとは

- **学生側の動き**：アンケートの回答、意見の投稿などを送信する
- **講師側の動き**：学生が送信したアンケートの回答やコメントから理解度や反応を確認しながら講義を進めることができる
- 学生、講師双方がスマートフォンを活用



デジタル・ナレッジ社のHPより

小学校国語科の現場で

- 「方法」にとらわれる必要はない
- アイディアとして参考にすれば十分
- 重要なのは「方法」ではなく、考え方である
- 物語文，説明文，言語事項，言語活動のすべてが「課題」となり得る
- なぜ国語科で「同じ教材文」を読むのか？
 - 学級集団という小さな社会の中でも、「同じ教材文を読んでも異なる考えを持つ人がいること」を知るため
 - 自分はマジョリティか？ マイノリティか？
 - 「普通」の考え方とは何か？
- アクティブ・ラーニングも，従来の国語科と変わらない

小学校4年生の国語の教科書で「空気の読み方」を教える？

The screenshot shows a Twitter post from user @nynuts. The tweet discusses a Japanese textbook for 4th graders that includes a section on 'how to read the atmosphere' (空気の読み方). The user expresses surprise and concern, noting that this concept is more advanced than what is typically taught to children of that age. The tweet includes a link to the textbook page and a photo of the textbook's content. The interface shows the tweet's engagement metrics (53633 views, 951 retweets, 158 replies, 866 likes, 105 bookmarks) and a list of users who interacted with the tweet. The background is a green chalkboard with a wooden frame and a small green eraser on the right.

togetter 1.7万
キーワードを入力 キーワード 検索
マイページ デルバー登録(無料) ログイン

トップ > 生活 > 教育 > 小学4年生の国語の教科書で「空気の読み方...」 注目まとめ 今週の人気 新着まとめ その他

ご意見をお寄せいただきありがとうございます。 [ここ](#)に書き込み
お送りいただいたフィードバックは、このサイトの広告の確認に利用させていただきます。
広告設定を更新していただく、よりご自分に合った広告が表示されるようになります。

ky 教科書 空気の読み方 子供 コレが本番 国語 読解

小学4年生の国語の教科書で「空気の読み方」教える？

うちの9歳児が日本の小学4年生の国語教科書を音読してたと聞いて、「お父さん、これどう意味？」って持ってきた。これがなかなかの絶品だったんですね。思わず大笑い。「え？」ってなってしまいました。それを写真に撮ってツイートしたところ、2000回を超えるRTとなり、リプライもたくさん来たので、まとめることになりました。

nynuts 53633 view 951 158 866 105 お気に入り登録 68

まとめ

Hiroyuki Takenaga @nynuts 2014-05-01 21:55:21
うちの9歳児が日本語の国語教科書の音読してる時に「お父さん、これどういう意味？」って持ってきたんですね。うちの子、基本アメリカ人だから、これはレベル高すぎるわ。まさに空気読みの訓練よね。 <http://t.co/ffPHZDmkWS>

Hiroyuki Takenaga @nynuts 2014-05-01 22:00:59
うちの9歳児がさらにわからなかったのが、これ。出たよ、「聞」。ここまで来たら「空気読」よね。ほぼアメリカ人のうちの9歳児にこれ説明するの、どんなに難しいか。一生懸命説明してあげたら「聞」とかどうだっていいじゃんと言。 <http://t.co/2rc7L5SCE>

It's gone. Undo
What was wrong with this ad?
 Inappropriate
 Repetitive
 Irrelevant

Hiroyuki Takenaga @nynuts
米国在住日本人で元主夫。家庭は息子ふたりとアメリカ人の妻。早稲田大学海洋学系中退→船乗り業→アジア放浪→東京のスーパー焼きそば店

まとめ
100 日本の子供たちは何歳から英語を...
302 アメリカ小学1年生の「I am diffe...
551 小学4年生の国語の教科書で「空...

フォローされている 1
アップデート

「教育」の注目まとめ 6つに絞る
元表紙定 過去問紹介
《比較のワナ》について
LUNAR NEWS
佐賀県高校少人数導入に関する上流設計の提案(私家版)
Luner
図書委員の仕事まとめ

教育10の新着まとめ 6つに絞る
カンタン英会話【さりすて英語術】@青木ゆ...



Hiroyuki Takenaga
@nynuts



フォロー

うちの9歳児がさらにわからなかったのが、これ。出たよ、「間」。ここまで来たら「空気芸」よね。ほぼアメリカ人のうちの9歳児にこれ説明すんの、どんだけ難しいか。一生懸命説明してあげたら「間とかどうだっていじじゃん」と一言。

pic.twitter.com/2rc7L55CEc

返信 リツイート お気に入りに登録 その他



リツイート
1,574

お気に入り
618



Hiroyuki Takenaga
@nynuts



フォロー

今朝うちの9歳児が日本語の国語教科書の音読やってる時に「お父さん、これどういう意味？」って持って来たんですね。うちの子、基本アメリカ人だから、これはレベル高すぎるわ。まさに空気読みの訓練よね。

pic.twitter.com/ffPHZDmkW5

返信 リツイート お気に入りに登録 その他



リツイート
3,182

お気に入り
1,245



5:55 - 2014年5月1日

画像/動画を報告する



0051 @7oolong

30日前

これ、空気読めって問題ではないし、正解をどちらかに決めようって問題でもないじゃんね。これを見て即座にどちらかだと決めつけちゃう人のほうが、よほど空気に毒されてるし、正解主義的だよ。



重-オモ- @__oMo__

30日前

学校で教えると画一的な答えになる事を危惧する人がいるけれど、その模範解答すら知らず失敗していく人がいるならば、無難でも知っている方がマシなんじゃないか。学校でやることではないにせよ「子供にあえて教えなくていいが大人になるまでにどこかで勝手に学んでおく必要がある普遍的な作法」だったら、その状況に出会わなければ一生学べないってことになる。出会わなければ考える機会すら無い



@ツ<)/◆ @aqn_

30日前

画像を見る限りでは、「空気を読みましょう」なんて言うようには見えない。正しい対応を選べという問題ではなく、「返事はなぜ違ったのか」という問題ですしね。これを「空気読め」と解釈する人の方が空気を読んでいると思う。本文には書かれていないことを読み取っているのですから。

返信 24



nisni811 @nisni811

30日前

この、『顔の見えない、ひとみさんのイラスト』って、すごい秀逸で、今までよくわからなかった、『国語』的な価値観というか、言語に対する接し方を気付かせてくれる、凄いいい可視化だと思う。どんな小説や文章でも、顔が見えないところから読み解かなきゃいけないんだよね。今では、テキストだけよりも、映像とか音声と同時のコミュニケーションが多いけど、だからこそ、こういうイラストでの可視化って、大事よ。

返信 17

参考にしたURL

- 渡辺敦司 「「アクティブ・ラーニング」とは何か 次の学習指導要領で注目」
 - <http://benesse.jp/blog/20141212/p2.html>
- 山地弘起2014 「アクティブ・ラーニングとはなにか」 『大学教育と情報』 146
 - http://www.juce.jp/LINK/journal/1403/02_01.html
- デジタル・ナレッジ「Clica」
 - <https://www.digital-knowledge.co.jp/product/clica/>

新指導要領（小H32～ 中H33～）

- 「教育新聞」サイトにおいて新旧対照表などのPDFをダウンロード可能

https://www.kyobun.co.jp/news/20170214_04/

- 「電子政府の総合窓口」でパブリックコメント募集中

<https://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=185000878&Mode=0>